

もやすごみに 金属類 を入れないで！！

ごみ焼却施設では、24時間体制で「もやすごみ」を焼却処理していますが、あることが原因で一時停止することがあります。それは、混入した金属類が焼却炉で燃え残り、灰を押し出す装置が詰まることによるトラブルです。令和4年度には計6回このようなトラブルが発生し、その都度設備を一時停止させ、計 820kg の金属類を除去しました。

ごみ焼却施設は、どんなごみでも焼却処理できるわけではありません。また、灰にまみれた金属類は資源になりません。適正なごみ処理を継続していくために、金属が含まれるごみの分別を今一度ご確認ください。



混入した金属類

金属製品・金属とその他の素材の複合品



青色袋へ

※袋に入らないものは粗大ごみへ

※スプレー缶・カセットボンバ・ライターは必ず中身を使い切って(ガスを出しきって)穴を開けずに青色袋へ
(△ガスが残っていると、ごみ収集車やリサイクルプラザでの発火事故の原因になります)



マークの缶



緑色袋へ



※ スチール

マークなどの缶

(お菓子の缶など)

は

青色袋へ

衣類・かばん・靴類



茶色袋へ

(例外的に金属がついていても可)



モバイルバッテリー・電子タバコ



蛍光管・乾電池等の日に透明な袋に入れて出す

(△過度な力が加わることで発火する恐れがありますので収集を分けています)



町内会・自治会で行う共同防除(薬剤散布)への支援を今年も行います

市では、アメシロ防除のため共同で薬剤散布を行う町内会・自治会に対し、「薬剤および散布機器の貸し出し」を行っています。貸し出しに係る日程は、下記のとおりです。

5月16日(開催済)	・事前説明会 ・申込順を決める抽選会
6月初旬~7月中旬	・1化期
8月中旬~9月中旬	・2化期

また、「アメシロ相談室(旧赤川地区浄化センター/羽黒町赤川字村下 63-2/ ☎62-5279)」へ物品を受け取りに来る際は、必ず2人以上でおいでくださいますようお願いいたします。物品の積み下ろしは、町内会・自治会のみなさまご自身で行っていただきます。

なお、「抽選会に参加できなかったが、申込みがしたい」という町内会・自治会の方は、環境課(市役所 6階/ ☎35-1247)までお問い合わせください。

	令和4年度実施数	令和4年度実施率
市街地	35/102	34.3%
郊外地	20/145	13.7%

【参考】地域の共同防除(薬剤散布)実施率

巣虫防除のすすめ

個人で防除を行う場合は「巣虫防除」が最も効果的で、人と環境にやさしい方法です。庭先などを見回り、徹底した自主防除を行いましょう。防除が遅れると、分散し周辺の樹木が被害を受けますので、早期発見に努めましよう。

巣虫防除の方法

枝切りバサミなどで巣虫ごと枝を切り落とし、幼虫を踏み潰しましよう。または、もやすごみ(茶色袋)に入れ、幼虫が這い出ないように口をきっちり閉めて、もやすごみとして出して下さい。

※高枝切りバサミは「アメシロ相談室」で貸し出しています。個人に対しても貸し出します。